

令和六年度における事業並びに財務状
況の報告をします。また、自己評価・学校
評価を掲示して情報公開します。
ホームページからも閲覧可能です。

期間令和七年五月三十日より

学校法人 藤田学園 藤田幼稚園

理事長・園長 藤田道信



令和6年度の教育活動等に対する学校評価

令和7年3月23日

学校法人藤田学園藤田幼稚園長 藤田道信

学校法人藤田学園藤田幼稚園学校関係者評価委員会

1 幼稚園の教育目標

人間の一生で無限の可能性に富み、人格形成に大きく影響を及ぼす幼児教育は何事においても大切な時期である。集団生活の中で幼児としてより多くの遊びの中で体験を積み重ね「富士山のように」1.じょうぶでねばりつよい子2.ゆたかなこころの子 3.どりよくしてつくりだしていく子4.すすんでとりくめる子を目指し、やがて次代を担う、たくましい人間、豊かな心をもって大きくはばたく人間育成を目標とする。

2 本年度の重点課題

- ① 経営基盤の強化
- ② 教職員の資質向上と人材確保
- ③ 保護者及び地域に期待される教育機関
- ④ 少子化に伴う取り組み
- ⑤ 保育園の民間移管

3 評価項目の達成及び取組状況

結果・評価

A：十分に成果があった

B：成果があった

C：少し成果があった

D：取り組みが不十分である

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
	評価点	取組・反省と改善策	評価点	評価・意見
① 経営基盤の強化	D	少子化に伴い園児数減少は続き、未就園児保育参加者も本当に少ない。地域の出生数も激減していることから、次年度へ向け経営的制度的対応を進める。	C	経営基盤の対応については、私たち評価委員ができることは何かを考えたい。制度や少子化について、余りにも理解が難しく、励ましと応援しかできない。
② 教職員の資質向上と人材確保	D	教職員は日常の業務において、研修活動が難しい、経営基盤の充実とも連動し、人材確保も簡単にはできない。今年は送迎バスや預かり保育の選任確保を目指し、人材紹介会社と契約し広報したが効果を上げられなかった。	B	教職員はベテランが多く安心しているが、若手の教育を進めながら、互いにスキルアップできる環境にあると思う。また、パートの先生方が本当によく業務分担をしていると思う。助け合いのできるチームワークがとても良いと思う。

③ 保護者及び地域に期待される教育機関	A	本園の保護者様の、幼稚園の教育活動へのご理解ご協力については、本当に感謝しかありません。幼稚園からのお願いに対しても積極的に遵守し実践していただきます。また地域の中で残された幼児教育施設として地域の期待は大きいと実感できています。まちづくり協議会・消防活動・その他からの要請がたくさんあります。	A	大淵地区ふれあい文化祭での全園児のよる作品が優秀賞受賞、合唱合奏の参加。第12分団消防団員と街頭で火災予防、農業体験やお茶うがい等、地域からの期待に応え子どもたちの参加している姿は、地域の大切な力であると思う。今後も地域と園と一緒にになって、子ども達を育て、地域の発展にも貢献してほしい。
④ 少子化に伴う取り組み	D	大淵地区はますます少子化が進み、その対応については今後の大きな課題を残した。今年もその影響は大きく、経営基盤の安定も含め、対策は私たちの領域を超えている。	D	少子化に対する取り組みとしては幼稚園でできることは何か考えてみても具体的な方法や対策は思いつかない。行政や私たち市民が真剣に取り組まなければならない事だと思う。
⑤ 保育園の民間移管	B	民間移管に向けて準備を進めてきたが、具体的な準備は進んでいない。令和7年度現実的な計画と実践を日々すすめ令和8年度の完全移管に向かって、行政と共にしっかりと準備していく。大淵の乳幼児の教育保育の為の本学の全力をもってこの事業に粉骨邁進する所存であります。	B	引き続き、令和7年度、大淵地区の乳幼児教育発展の為、この事業の実現に取り組んで行ってほしいと思います。藤田学園が保育園を運営することで地域の子育てを担うことに期待しています。
財務状況 C	施設型給付園になり、昨年同様、財務状況大きく改善されたが、少子化はますます進み加速しています。利用定員を下げての対応であり今後も行政担当部局に相談をしながら進めることが重要です。			

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

本年度の教育目標である「わくわくとくむ」を実践してきました。日々のわくわくした教育保育を通じ、子どもの主体性・自己効力感・自己肯定感を育むために、【一緒に遊ぼう・挨拶を交わそう・みとめあおう】という行動から、自ら関わり合い、協力し、知恵を出しあい、仲間のとその目標や課題に向かって取り組み、励まし合い、達成感を味わい、共有することを通じ認め合える環境や保育内容、日常の遊びを進めてきました。

その取り組みを実現するため、本年度は以下の重点目標かがけ進めてまいりました。

- ① 少子化にあって充実した保育運営の取り組み

- ② 教職員の資質向上と人材確保
- ③ 保護者及び地域に期待される教育機関
- ④ 少子化に伴う取り組み
- ⑤ 保育園の民間移管

この5つの目標をもとに経営・教育保育の両面から実践に努めてま参りましたが、教育保育の実践面では教員の努力によって、園児の成長に対する効果はあったと思います。しかしながら経営基盤の充実確保は難しい課題としてのこりました。今後もより安心安定した保育活動が適切に行われるよう、目標の成果及び反省を生かしていかなければなりません。そこで、来年度も引き続き以下の事項について取り組んでいきます。

- ① 経営基盤強化にともなう取り組み。
- ② 教職員の資質向上と有能な教職員確保の取り組み。
- ③ 保護者及び地域に期待される教育機関
- ④ 気候変化等、環境への取り組み。
- ⑤ 中野保育園民間移管の取り組み。
- ⑥ だれ通の試行的事業の推進。

5 来年度、取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
経営基盤の強化	新制度給付制度の内容実務の理解を深め、適切な経営運営ができるよう努める。
教職員の資質向上と人材確保	教師自らスキルアップができる工夫と今後に向けての人材確保を進める。 人事の取り組み。
保護者及び地域に期待される教育機関	地域活動への積極的関わりを通じ、子どもの大切さを配信していく。また子育て支援への取り組みを充実する。
気候変化・環境への取り組み	昨今の気候の変化は大きく、保育活動も左右されることから子どもたちの健康の増進保管への取り組みをしっかりと進める。
保育園の民間移管	令和8年度完全移管に向けて、令和7年度の計画を確実に進める。関係者への十分な周知と理解を求めていく。

6 学校関係者評価委員さんからのコメント（抜粋）

- ・1年間ご苦勞様でした。大変な時代を迎えていると思いますが、これからも藤田幼稚園らしさを忘れないでください。
- ・地域の変化が著しいと思います。何がどのように変わっているのか、幼稚園で話を聞くことでわかることがたくさんあります。私たちも、世の中の変化にもっと敏感にならなくてはと自己反省です。
- ・昨年もはなしましたが、少子化の加速がますます増幅していますね。ここ、大淵は市街化調整区域で産業もなく、工業団地も機械化で人が増えることはないですね。若者問題もありこの地域はどうなっていくのでしょうか。
- ・幼稚園からいろいろ情報を発信していくことで、未来が見える気がします。

幼稚園の周辺航空写真



令和6年度 学校法人藤田学園 藤田幼稚園 情報公開

財 務 状 況

【資金収支計算書】

科 目	決 算 額
収入の部	
学生生徒等納付金収入	1,130,000
寄付金収入	41,000
補助金収入	84,157,309
付随事業(補助活動収入)	6,007,200
受取利息・配当金収入	10,838
雑収入	155,111
借入金等収入	0
前受金収入	0
その他の収入	3,654,942
資産売却収入	0
資金収入調整勘定	△ 6,337,913
前年度繰越支払資金	17,673,061
収入の部 合 計	106,491,548

支出の部	
人件費支出	64,233,413
経費支出	21,838,990
借入金等利息・返済支出	4,096,094
施設関係支出	0
設備関係支出	0
資産運用支出	2,341,888
その他の支出	802,567
内部資金支出	0
資金支出調整勘定	0
翌年度繰越支払資金	13,178,596
支出の部 合 計	106,491,548

【財産目録】

科 目	金 額
基 本 財 産 計	144,340,123
運 用 財 産 計	140,386,622
資 産 の 部 合 計	284,726,745
固 定 負 債 計	0
流 動 負 債 計	390,007
負 債 の 部 合 計	390,007
差 引 純 資 産	284,336,738

(参考)

事業活動収入計 91,501,458

事業活動支出計 92,510,529

園のコメント

少子化が予測以上に加速して止みません。本学の建学の精神に基づく幼児教育の実現は、教育内容の充実・教職員の資質向上・優秀な人材の確保・環境教育の設備充実を進めなくてはなりません。しかし、地域の少子化による園児数の減少がますます進み、経営は大変難しい状況です。その中において、公立施設の廃止・移管が行われ、本学が地域の幼児教育の担い手として、また地域子育てのコミュニティーとしてその責務の重大さはましています。日々、研鑽を重ね教育環境の充実と教職員の献身的な努力により幼児教育の振興に取り組んでいます。また、経営状況は計算書からも分かる通り若干ではありますが降下現象が始まりました。

しかしながら、経営の縮小化は引き続き事が予測されます。そして、令和8年度からは民間移管を受け中野保育園の運営を担う事になりました。その事からも大淵地域の期待される保育教育施設として、教職員一丸になって研鑽努力に努めることに邁進する所存です。そして経営は施設保管・維持という概念で進める事になるように思われます。今後とも、この地域の乳幼児教育保育期間として存続する事を英知を絞り歩いていかなければと思います。

【事業活動計算書】

科 目	決 算 額
教育活動収支の部	
学生生徒等納付金	1,130,000
寄付金	41,000
補助金	84,157,309
付随事業収入	6,007,200
雑収入	155,111
その他収入	0
教育活動収入計	91,490,620
教育活動支出計	92,461,435
教育活動収支差額	△ 970,815
教育活動外収支の部	
教育活動外収入計	10,838
教育活動外支出計	49,094
教育活動外支出差額	△ 38,256
経常収支差額	△ 1,009,071
特別収支差額(資産処分)	0
基本金組入前当年度収支差額	△ 1,009,071
基本金組入額合計	0
当年度収支差額	△ 1,009,071
前年度繰越収支差額	△ 42,689,890
翌年度繰越収支差額	△ 43,698,961

【貸借対照表】

科目	本年度末
資産の部	
固定資産	265,210,236
流動資産	19,516,509
資産の部合計	284,726,745
負債の部	
固定負債	0
流動負債	390,007
負債の部合計	390,007
基本金の部	
第1号 基本金	320,322,027
第4号 基本金	7,713,672
基本金の部合計	328,035,699
繰越収支差額	△ 43,698,961
純資産の部合計	284,336,738
負債及び純資産の部合計	284,726,745

理事長・園長 藤田道信